

第3回勝山市立中学校再編準備委員会 議事録

(1) 日 時：令和6年10月11日（金）19:00より（勝山市教育会館 第1研修室）

(2) 参加者：準備委員17名（5名欠席）、事務局10名（1名欠席）、報道3名、傍聴1名

(3) 内 容

1. 部会長あいさつ

2. 教育長あいさつ

3. 協議・報告事項

①総務部会について

②学校運営部会について

③PTA部会について

④施設整備部会について

《委員長あいさつ》（省略）

《教育長あいさつ》

- ・9月の定例市議会で議案「地下横断歩道建設工事の工事等請負契約の締結について」が継続審査となった経緯を説明。

《協議・報告事項》

（各専門部会の進捗状況について）

委員長 ・各専門部会の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

① 総務部会

事務局 ・資料の1をご覧ください。前回の総務部会、続けておこなった準備委員会で校章選定に係るデザイナーの選定について議論をいただいた。委員の皆様からは子ども達にデザインの説明をしていただける方、決められた予算の中で可能な方を事務局で人選をしてほしいという意見をいただいた。事務局で協議をして市内の小中学校で総合的な学習に協力いただいているデザイナー橋島様にお願いをしたいと考えた。参考資料として橋島さんのプロフィールをあげてある。70周年記念の勝山市の勝たん山のデザインをされたり、成器南小学校の雪室そばのパッケージを作る子ども達の活動に協力されたりしている。さまざまな成果をあげておられ、プロバスケットボールのトレードマークもデザインされている。このほかにも著名なデザインを手がけられている。何度かお会いし子ども達の前でデザインの趣旨を説明することも快諾いただいているし、総務部会でも意見をいただいて参考にしたいとお聞きしている。この方で進めさせていただきたい。お認めいただければ12月5日に予定している小学校6年生の皆さんと保護者の皆さんに集まっていただく説明会でいくつかのデザインを紹介していただいてそこに込める思いなどを説明していただいて関心を持っていただく。他の子ども

も達にも関わってほしいと考え、いくつか案を提示していただいて投票なりの形で意見反映できる取り組みを進めたい。

② 学校運営部会

事務局 ・資料の2-1をご覧ください。学校指定物品について12月5日に説明会を開いてその週末に物品販売を繊維雑貨組合の協力を願って販売を行う。今回は大きく変わるので注意事項をまとめた。保護者の方が戸惑われないように考えたい。指定物品に関して、7年度、8年度については移行期間としているので制服、体操服、内履き、通学カバンなどについて兄や姉の物があるからという場合はそれで構わない。制服については正装としてブレザーにスラックスまたはスカートにカッターシャツにリボンまたはネクタイとしている。基本的にこれは揃えていただきたい。夏物はブレザーをとったものとして購入していただきたい。ただしカッターシャツについては白で無地の物であれば市販品のものでも構わない。平常時はポロシャツでも良い。ジェンダーレス対応とするのでスカート、スラックスの選択、リボン、ネクタイの選択については性別によらずどちらを着用しても構わない。体操服もこれを正装とするが長袖の夏用の服も活用して構わない。ここで認めていただきたいがワーキングチーム会議、学校運営部会の方で体操服につけるロゴマークを検討してきた。資料2-2をご覧ください。ワーキングチーム会議では文字としてこの形にし、学校運営部会では制服につけるエンブレムのデザインと恐竜のマークを付けてはどうかとなった。最終的にこの案で勝山市の象徴として山もつけてある。つける位置については前面にはプーマのマークと名前が入って込み合うので首の後ろのところに付けていただく。この件について最終決定をこの場でお願いしたい。

委員長 ・今説明のあったロゴマークについてそれでよろしいか。異議がなければこれでよろしいか、前回も議論をしたところになる。

委員1 ・少しずれるのだが開校に間に合うのかどうか。地下通路の方が着工できないので学校は建ちあがると思うのだが、新入生がどこに行けばいいのか。遅れるのかどうか。先ほどは微妙なニュアンスだった。もう一度説明していただきたい。市PTA連合会の方で小中学校の親御さんにアンケートを取った。一カ月ほど前だから変わってきているかもしれないが1000軒ほどの家庭から回答が来ている。反対派がまだ多いのが実情。先ほどの制服の案件で兄弟がいても使えないから残念という話があったが今のようにならされていると思うがそれが心配のまま反対の状況にあるのかなあと思う。個別に回答できないし間違えて答えても後でしかられるから黙っているところもある。11月の語る会用のアンケートでもあるので見せる時期ではないのかもしれないがなるべく早く理解を得るためにはそれに対するアンサーを私たちも提供させていただくので出してもらって答えられることからでも答えてなるべく理解いただき中間派が賛成になるように努力が必要な時期ではないか。HPや学校ごとなどいろいろあるのでなるべくやっていただく方が当事者になってくるので対応をお願いしたい。

委員長 ・貴重な意見をありがとうございました。ひと月前とはいえ情報を提供していただいた。

事務局 ・地下横断歩道の工事が開校に間に合うのかということだが正直間に合わないとなったわけではなくて間に合うかどうか微妙になってきたという状況。早く契約ができて工事がスタートできれば今の時期なら開校に間に合うと準備を進めてきた。9月が12月でもお聞きするとギリ間に合うところはあるが少し遅れることによって校舎の本体

建設工事とか勝高でもリニューアル工事とか一体的には始まるので工事の関係で少しやりくりすることが発生したりすると難しくなるかもしれない。はっきりこれで間に合わなくなったという状況ではない。我々としてはできるだけ早く議会には議決をお願いしたい。それからアンケートをとられて言われたように我々の方では反対だという理由を聞くとこういうところが不安だとかどうなっているのかははっきりしないから反対だという声もある。個別に説明していくとわかっていただいてそれならという方もいらっしゃる。できるだけそういう声にこたえていく、説明をしていくことが大事だと思うので可能な範囲で情報をいただけると我々の方でも周知とかどう伝えていくかを考えたい。

事務局 ・ 物品販売の保護者へのお知らせだが現時点では販売の一か月ほど前に分けようと考えている。さらに早くということであれば時期については極力皆さんに早く周知させていただいて安心していただけるように考えていきたい。

委員 2 ・ 兄弟の物でもいいという部分を周知するということか。

事務局 ・ 資料にも書かせていただいたが今までの物を使ってもいい、7年、8年は移行期間だから安心してほしいとできるだけ早くお伝えしたい。

委員長 ・ こういうところでありがちのことだが段取りを踏んで一回伝えたら全員に伝わってしまっていると担当は思うが聞いている方、待っている方は一回で聞いていないかもしれない。何回も何回も伝えていただいていると言われるくらいにしないと浸透しないかもしれない。事務局は大変だと思うがよろしくをお願いしたい。

委員 3 ・ 市PTA連合会から話があったが、今回延びた大きなポイントは市長選が入ってきたからと思えばいいのか。継続審査でどんどん延びていくこととか、市長が今後変わったら何か変わるのか。そういう不安もある。その点でどうか。

事務局 ・ 議会の特別委員会での議員のいろいろな意見の中で市長選があるから一定反対の方もいて反対の署名もたくさん集まっている。もう一人出られた方も一旦立ち止まると公表されたりすることもあるのでそれを背景にしているのかもしれないが、議員の口からは「市長選があるから審査は終わるまで継続にした方がいい」という動議が出されてそれについての可否を取ったら継続審査がいいということになった。市長が変わったというあたりはコメントできない。いずれにしても我々はこの3月議会に予算を認めていただいているので粛々と執行していくことに尽きる。

委員 4 ・ 信じるしかないということか。これだけ皆さんが集まって協議してきているのでそれが延びて延びてというのは何だろうと思っている。

事務局 ・ 信じていいと言われると我々も同じ気持ちで令和9年4月に開校したいとあらゆる努力はしていきたい。そういった声を議員にもお伝えいただければいいかと思っている。

委員長 ・ 貴重な意見をありがとうございました。事務局の方もいろんな思いが交錯しているのではないと思うが皆さん一致団結して決まったことをどんどん進めていくことかと思う。他にはよろしいか。それでは事務局から提案のあったロゴについてはよろしいか。

委員 5	・山だけ著作権上、どこからかわからないが問われないようにするといいい。
委員長	・では皆さんこれでいいということで引き続き事務局に説明をお願いする。 ・もう一点、デザイナーはこの方でよいか。事務局はいろいろ考えた中でこのかたでお願いしたいということだった。
事務局	・実際、限られた予算で総務部会や全体会で話をしたが一つは勝山にかかわりのある方で子ども達にいろいろな説明をしていただける方とか様々な条件を考えてこの方が適任ではないかと検討させていただいた。
委員長	・この方でお願いしたいという話かと思う。
事務局	・実際に東京と勝山を行ったり来たりでデザイナーなので前衛的なヘアスタイルかもしれないが話をするとそのようにびっくりする方ではない。
委員長	・そういうことでよろしいか。ではデザイナーはこの方でお願いしたい。次に進めさせていただく。
事務局	・残りの服装関係についてざっと説明させていただく。小さなゼッケンをつけること、内履き、外履きについても学年の色を変えずに一定の物にすること、推奨品という言葉の扱いについてこのようなタイプの物であれば一般の物でもいいということを書かせている。令和 7 年、8 年のお子さんについては現在の中学校に入学される。例えば新入生は大きいカバンで持ってくるが上級生は今まで通りでいる。そのあたりの校則のすり合わせを校長会とも協議させていただいている。決まり次第お知らせさせていただく。
委員長	・では、引き続きお願いしたい。
事務局	・学校運営部会で報告したことが資料 3 になる。中学校の部活動の地域移行に向けてのお知らせで、少子化の中で全国的に部活動の地域移行が進められている。新聞報道等でもあるがすでに令和 7 年度より土日の部活動については学校が行わないという方針で地域に移行していく動きが進んでいる。令和 8 年には、中体連の調査によるとほぼ全県的に行われる。勝山市もこの例に習って令和 8 年の夏以降、中学校の土日の部活動を行わない方針で行きたい。市の教育委員会、校長会、市 P T A 連合会の連名で市民の皆様にお知らせしていきたい。全庁的に協力していただける団体を募集している状況に入っている。徐々に増えてくるものと思われるが集まった団体を一覧にして子ども達の活動場所を周知したい。このことは単に学校の部活動が無くなるだけではなくて地域をあげて子ども達の文化活動やスポーツ活動を応援していこうとする動きに代わっていくことを理解していただくようにお伝えしていきたい。 ・引き続き、資料の 4-1 をご覧いただきたい。中学校を再編して勝山高校の敷地に作る意味は中学校と高校が連携をして 6 年間で子ども達を育成していくことでその恩恵を子ども達に還元できるようなシステムを作りたいとこの中高一貫教育を進める。連携型中高一貫教育の形で進めることを資料 4-1 は略図で示している。具体的にどのようなシステムにしていくとよいかを学校運営部会の中で協議していただいた。資料 4-2 になる。A 案は 2 年生の 3 学期 2 月頃に勝山高校に進学を希望する生徒を 100 人から 120 人、7 割から 8 割の生徒を連携生になってもらい、勝山高校のさまざまなサポートを受けながら勝山高校に進学していく。C 案は現状の 11 月ぐらいの進路決定をする

時期に勝山高校の志望者を最終決定してその子たちを連携生徒として勝山高校により簡便な入試で入学していく。B案はその中間的な案になる。委員からは接続するのはいいが入試のハードルをなくすのはいかなものか、入試があるから勉強するのではないか、簡便な入試で勝山中学校と勝山高校がほぼ入試がなく接続していくことに不安を感じる意見があった。連携型一貫教育の意義としては6年間でないとできない教育をすることを目標しているから、何ができるのかを明確に説明していくべきではないかという意見もいただいた。いつ頃どうしていくかについては県とも勝山高校とも話を進めている。連携したことがより子ども達にとって良かったというシステムになるように今後も検討を進めていきたい。

委員長 ・説明と連絡でよろしいか。次にPTA部会についてお願いします。

事務局 ・資料はない。大きく2つのことがある、一つ目はスクールバスについて、交通担当課も含めて市内全体の公共交通機関をどのようにするのかを詰めているところである。スクールバスだけではない部分もあり協議を進めている。受け手となるバス事業者とも協議を進めようとしている最中である。もう一つはPTA組織、同窓会組織についてになる。令和9年4月には現在の3中学校は閉校になるわけで今あるPTA組織をどうするのか、繰越金をどうするのか、同窓会組織については毎年の会費をどうするのか、同窓会組織はどうするのかという問題がある。3中学校のPTA会長様、3中学校の同窓会長様に別途集まっていたいて相談を投げかけてある。学校側とPTA、同窓会と相談していただいている最中。各学校で役員さんなどを中心に話し合いが行われる予定になっている。

委員長 ・特にPTAとか同窓会は市教委の管轄ではないのでそれぞれの会長さんと連携を取っていただいてと思う。質問は最後にして次に施設整備部会の報告をお願いしたい。

事務局 ・4つの工事について説明をさせていただく。資料5をご覧ください。2つの工事について説明してある。一つ目は緑色で囲まれた仮設昇降口棟の建設工事、昇降口というのは玄関で勝山高校の玄関を壊すので代わりの昇降口を建設する工事である。左側の緑色に塗りつぶしてあるのが仮設昇降口の位置になる。下の方に工事動線があるが市営体育館跡地内を工事車両が通って進むような形になる。図面の方は右側に左右反転のL字のように示してある。今日現在、工事車両動線の市営体育館跡地とグラウンドは高さがあるのでスロープを設置した。少し斜めに入っていく形でこの絵とは違うが細かいのは仮設の鉄板の表示を表している。ここをこれから図面の真ん中に二点鎖線があるが中学校の校舎が建つ位置になる。その工事や高校の特別教室棟の工事、その工事車両がここを通る形で令和8年の11月か12月までは設置される。合わせてグラウンドに仮囲い設置をして工事エリアと生徒が使用するエリアを分ける。さらにクラブ室とか倉庫も設置する。もうひとつは中学校建設に伴う解体の整地工事になる。図面はオレンジで表示している。現在の第一体育館と管理棟の間にある昇降口の解体、東側のクラブ室の解体、ピオトープとか倉庫の解体、国道との間の築山をとる工事もする。地下横断歩道の通る場所となる部分が整地されることになる。資料6をご覧ください。こちらの方は地下横断歩道に関連する付帯設備工事になる。図面の真ん中を通っているのが国道157で青色の点線が地下横断歩道の模式図になる。黒い丸はジオアリーナの電気の引き込みのコンクリート電柱が立っていて今回発注した横断歩道工事の支障になるということで赤い丸の方に電柱を移設してそこからジオアリーナの電源を引き込む形の工事になる。一枚めくると詳細な図面になる。ちょうど左側の

点線で囲まれた部分が既設引き込み電柱で真ん中の赤丸が新しく建てる電柱になる。二点鎖線がジオアリーナに電源を供給する工事の内容になる。最後に参考資料になるが地下横断歩道の建設工事で7月22日の第2回再編準備委員会にも説明させていただいた。今年度は図面の真ん中の国道157の下にボックスカルバートという構造体を入れる形の工事を行う。次のページがそれに伴う交通規制の図になる。最後が工事のスケジュールになる。このスケジュールは9月の時のスケジュールなので我々としては議会の継続審査になったが一日でも早く着手できるように丁寧な説明も含めて努めてまいりたい。スケジュールに関しては改めて説明できるかと思う。

委員長 ・一連の説明等についてご質問やご意見があれば伺いたい。

委員6 ・今すでに工事が始まっている状態で地下横断歩道の工事が止まっているのは、地下横断歩道をやめるために止まっているのか、全体的なことで止まっているのか。

事務局 ・4つの工事のうち3つは金額的には議会の議決が必要な工事ではないので本契約を済ませて着手している。4つ目の地下横断歩道の工事は仮契約で着手していない。金額の大きい地下横断歩道については地方自治法や条例にもあって最終的な本契約に移るには議会の判断が必要になる。今回9月議会に上程して継続審査になった。この工事は行われていない状況だが我々としては令和9年4月開校に向けて調整をしながら努力していきたい。

委員7 ・地下横断歩道工事が高いから他の案を出そうという感じなのか。地下横断歩道のお金が高いから代わった市長が別の案を出すかもしれないので止まっているのならわかるが、現状始まっているところを他の案にかえるということではなく通ったものを止めているというのは最悪のことを考えたら中学をやめるという考えもあるということか。

事務局 ・本来はあくまでも入札に対して適正かどうかを審議し、議案に対して可決か否決かということだが、市長選があるから継続審査という動議、提案があつて議会閉会中の継続審査が今も続いている。我々とするとも一日でも早く着手したいという思いで丁寧な説明を含めて努力していきたい。

委員8 ・すこしずれるが議員は今の変更によって延びてしまうことを説明して承知の上の停止ということなのか、先に止める、あとあとこうなると後で説明になったのか。議員は最初から開校に間に合う間に合わない状況になっていることを思っているのか。

事務局 ・議案で提案するのでスケジュールや工事内容を含めて我々とするとも詳細に令和9年に間に合うために適正な発注をさせていただいていると説明させていただいた。その上で議会の判断になって今回は継続審議を選ばれたと認識している。今の段階では開校に間に合わないとは言っていないし努力していきたい。他の工事もあるし中学校の本体工事もある。そちらも工事費が大きいので議決案件になり影響が出てくるのではないかと危惧している。少しでも令和9年4月に向けて早く着手したい。

委員9 ・決まっていないときに何だが、万が一間に合わないとわかった時に例えば4月を9月にするとか次年度にするという判断はするのか。

事務局 ・正直、それは考えていない。だめだったらこうしようではなくてとにかく条例で決めていただいた令和9年4月開校をめざして努力する。

委員 10	・地下道が止まっている。来年度に資材の値上げがメーカーから出ている。早めに決めていかないと仮契約した業者が苦しいことになる。早め早めに動いていかないと、中学校がメインなのでそこが一番怖い。下請けで入る業者も高齢化して人がいない状態だしそれをやりくりする業者もいないし、何とかうまくまとめていただけるといいと思うので願います。
委員長	・事務局も一刻も早く進めたいと思っている。他にいかがか。無いようであればこの辺で事務局にお返しする。
事務局	・ありがとうございました。突然の会でしかも難しい内容で十分ご理解いただけたかどうかはわからないが、質問があればいつでも事務局の方へ個別でも構わないので聞いていただければと思う。それでは第3回の勝山市立再編準備委員会を終了させていただきたい。本日も忙しい中お集りいただきありがとうございました。次回は12月頃を考えている。連絡をさせていただくが状況に応じてもしかすると急にこのように連絡することも出てくるかもしれない。ご了承いただきたい。各専門部会については随時開催していきたいと思っているので所属の部会の案内が届いたらよろしくお願いしたい。以上で終了としたい。ありがとうございました。

資料1．勝山中学校校章選定に係るデザイナーと今後の予定について（案）

資料2-1．制服等を購入される保護者の皆様へ（案）

資料2-2．勝山中学校新体操服ロゴマーク（最終案）

資料3．令和8年度以降の中学校の部活動について（案）

資料4-1．中高連携カリキュラムおよび連携生徒の選考について（検討案）

資料4-2．連携生徒決定時期等の検討案

資料5．仮設昇降口棟建設工事・解体工事配置図

資料6．地下横断歩道付帯設備工事

参考資料．勝山市立中学校建設に伴う地下横断歩道